

## 基本方針

昭和36年11月、東京都各種学校協会として発足した当協会は、平成24年4月職業教育のさらなる充実振興を目指し、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会として新たにスタートし、本年度、設立56年を迎えます。

文部科学省において「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」は制度化に向け、設置基準の検討など進められています。一方、「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」で、今後の振興策の方向性が示されようとしています。

経済社会の発展に伴って専門職教育の重要性が強調され、新たな教育の制度が次々と提案されるものの、それを振興するための支援策は示されていません。特に専門学校は大学・短大に比べ国・都いずれも経常費助成等の支援策は著しく不公正な状況に置かれています。

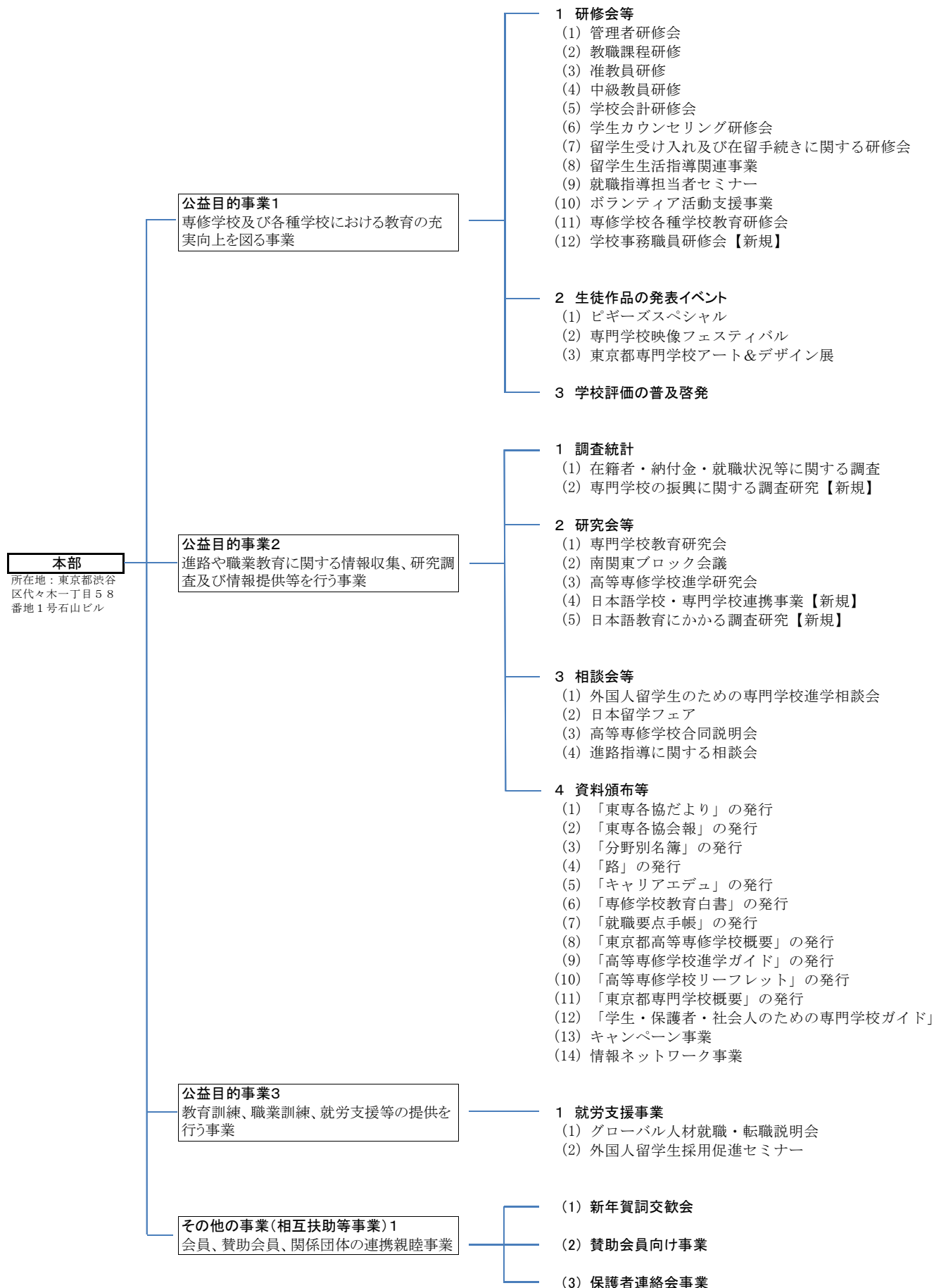
このような中、実践的な職業教育を担う専修学校各種学校の振興を図る都内唯一の団体として、その役割と責任は重要さを増しています。

このような状況を踏まえ、当協会では、専修学校・各種学校教育の質の充実・向上を図り、公益性の高い事業活動を推進する決意を改めて認識し、平成29年度の事業計画を策定するに当たり、下記のとおり実施の方針を定めます。

### 記

1. 公益法人としての法令遵守と規範意識をもち、組織改革に努め、会員の期待と信頼にこたえるよう適正な協会運営を行い、平成29年度の事業計画及び予算編成は公益法人の事業体系に基づき編成します。
2. 学生・生徒の進路や職業教育に関する情報収集、研究調査及びその広報活動等の事業を強化します。また、高等学校の進路指導と連携した事業を推進します。
3. 大学型の新たな職業実践教育機関の制度化等を踏まえ、現状の専門課程の制度的課題等を調査研究し具体的な振興策を全国組織及び文部科学省へ提言・発信します。
4. 専修学校及び各種学校教育の充実向上を図るため、教職員の質向上のために、従来の研修に加え新たな研修の開発を行います。
5. 教育訓練、職業訓練、就労支援等の提供を行う事業として、若年者や外国人留学生等グローバル人材の就労を支援する事業を推進します。
6. 文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」は平成28年度末には全国902校、東京122校となりました。認定課程充実の振興制度の創設を引続き国・東京都に要望します。
7. 我が国の教育体系の中で重要な役割を担っている高等専修学校に対する振興事業を積極的に展開し、東京都の「教育振興費補助」の改善・増額を国・東京都に要望します。
8. 各種学校振興のための事業を推進します。特に日本語教育振興委員会を中心に、国及び東京都に対し施策の充実を強く要望します。
9. 経済的理由により専門学校への就学を断念することがないように、実証研究事業の継続と制度化の実現をめざし、全国専修学校各種学校総連合会とともに要望します。
10. 教育の充実、振興を図るため、学生・生徒、保護者及び会員校の声を結集し、より強く反映させたるため、行政区域ごとの専修学校各種学校協会と連携するとともに、未設立地区の専修学校各種学校協会の設立を促進します。

# 平成29年度 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会 事業体系図



# 事業計画

## 公益目的事業1

### 「専修学校及び各種学校教育における教育の充実向上を図る事業」

(研修会等・生徒作品の発表イベント・学校評価の普及促進)

#### I 趣旨（目的）

専修学校及び各種学校の教職員、生徒等を対象とした研修会等や学校評価の普及啓発活動を行い、専修学校及び各種学校における教育の充実向上を図る。

#### II 事業

##### 1. 研修会等

学校制度、教育学、心理学、カウンセリング、留学生受入関連業務、学校会計等に関して、教職員が精通し質の高い教育が提供できるよう、下記の研修会等を実施する。

##### (1) 管理者研修会 <予算額：470千円>

都内専修学校各種学校の理事長・校長・設置者・役員・準管理者を対象とした、学校経営に係わる課題についての研修。

日 時 平成29年11月

会 場 未定

定 員 80名

対 象 理事長・校長・設置者・管理者

##### (2) 教職課程研修 <予算額：1,750千円>

都内専修学校教職員を対象とした、学校制度、教育学等、教職科目を内容とする研修。

日 時 平成29年5月～11月（全25回）

午後6時30分～8時（1単位時間90分）

会 場 文化服装学院

定 員 65名

対 象 教職員

##### (3) 准教員研修 <予算額：912千円>

都内専修学校に在学する教員志望の生徒を対象とした、教職科目及び一般教養科目を内容とする研修。

日 時 平成29年9月～10月 土曜日（3日間）  
午前10時～午後3時45分（90分講義、1日3コマ）  
会 場 文化服装学院  
定 員 200名

**（4）中級教員研修 <予算額：2,500千円>**

教員自身の指導スキルと部下の育成指導スキル向上を目指し、全7回の体系的な講座を開催する。

日 時 平成29年6月～9月（全7回）  
会 場 未定  
定 員 30名  
\*7月は1泊2日の宿泊研修を実施

**（5）学校会計研修会 <予算額：1,000千円>**

都内専修学校各種学校の校務・会計の健全化を推進するための研修会。  
初級者向けと中・上級者向けと分けて開催する。

①初任者研修

日 時 平成29年6月下旬  
会 場 未定  
内 容 学校法人会計の基本事項の解説と演習  
定 員 30名

②管理者（中級・上級）研修

日 時 平成29年6月下旬  
会 場 未定  
内 容 法人経営にかかわる会計上の諸問題について  
定 員 70名

③「初任者のための学校会計テキスト」の発行（増刷）

部数 600部

**（6）学生カウンセリング研修会 <予算額：300千円>**

都内専修学校各種学校の教職員を対象とした、学生カウンセリングの現状と問題点、必要性、あり方等に関する研修会。

日 時 平成30年1月  
会 場 未定  
定 員 80名

**(7) 留学生受け入れ及び在留手続きに関する研修会 <予算額：650 千円>**

都内専修学校各種学校の教職員を対象とした、留学生受け入れに伴う留学生管理や出入国管理に係る諸手続きなどの実務に関する研修。

日 時 平成29年10月

会 場 未定

定 員 100名

**(8) 留学生生活指導関連事業 <予算額：6,300 千円>**

留学生が犯罪等に巻き込まれることなく充実した留学生活を送れるよう、受け入れ校に対し、留学生の生活指導に関する諸事業を行う。

※東京都生活文化局からの委託事業

①留学生に対する生活指導等講習会

都内の大学、短期大学、専修学校、各種学校の教職員を対象とした、留学生に対する生活指導に関する研修。

日 時 平成29年6月

会 場 都庁 大会議場

定 員 350名

②留学生担当教職員研修会

都内専修学校各種学校の教職員を対象とした、留学生受け入れに伴う留学生管理や出入国管理に係る諸手続きなどの実務に関する研修。

日 時 平成30年1月（全2回）

会 場 未定

定 員 各50名

③留学生等指導相談窓口の開設

都内の専修学校・各種学校の教職員を対象に、入学後の指導管理、在留資格変更等の諸手続きの相談に対応する。

④「日本留学生活の予備知識」の発行

日本の留学制度、入国管理関係手続き、日本の生活習慣や文化・禁止事項等を紹介。

1. 中国語版（簡体字）

2. 中国語版（繁体字）

3. ハングル版

4. 英語版

5. ベトナム語版

6. ネパール語版

7. タイ語版

8. インドネシア語版

9. 日本語版

\*上記1～4は冊子にて発行、1～9全てを協会ホームページへ掲載

**(9) 就職指導担当者セミナー <予算額：300千円>**

就職状況や採用環境等に関する有識者の講演ならびに、専門学校の就職指導担当者による指導事例等の講演・報告の研修。

日 時 平成29年10月

会 場 未定

定 員 100名

**(10) ボランティア活動支援事業 <予算額：1,500千円>**

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、専修学校各種学校の教職員・学生・生徒に対し研修会等を実施し、ボランティア活動における啓発活動及び、専修学校各種学校のボランティア活動情報を発信する。

①東京都専修学校各種学校ボランティア活動等支援協議会の運営

②ボランティア活動に関する研修会の開催

日 時 平成29年7月、平成30年2月（全2回）

会 場 未定

定 員 各100名

③専修学校各種学校におけるボランティア活動に関するウェブページの運営

**(11) 専修学校各種学校教育研修会 <予算額：300千円>**

会員、賛助会員、その他教育関係者等を対象に、時宜を得たテーマによる研修会を行う。

日 時 平成30年1月

会 場 京王プラザホテル

定 員 100名

**(12) 学校事務職員研修会【新規】 <予算額：340千円>**

学校運営において事務職員の質的向上は不可欠であり、社会的な要請でもある。事務職員のスキルを高めるために必要な研修を実施する。

日 時 未定

会 場 未定

定 員 30名

## 2. 生徒作品の発表イベント

専修学校各種学校の生徒による作品発表の場として、展示会、フェスティバル等を実施する。

### (1) ピギーズスペシャル 〈予算額：4,500千円〉

生徒作品による衣料革ファッションショー。都内専修学校生による衣料革（豚革）作品の試作、東京レザーピッグスキンピギーズスペシャルで優秀作品の発表を行う。

日 時 平成29年11月

会 場 東京国際フォーラム

※東京都産業労働局からの委託事業

### (2) 専門学校映像フェスティバル 〈予算額：945千円〉

都内専修学校生徒作品による映像作品の上映会。

日 時 平成29年9月29日（金）～30日（土）（予定）

会 場 東京ウィメンズプラザホール

※東京都私学財団助成事業

### (3) 東京都専門学校アート&デザイン展（SEBIT2018）〈予算額：2,200千円〉

都内専修学校生徒作品による美術作品の展覧会。

日 時 平成30年2月22日（木）～28日（水）（予定）

会 場 東京都美術館

※東京都私学財団助成事業

## 3. 学校評価の普及啓発 〈予算額：4,000千円〉

教育内容の充実やガバナンス強化を目指した個々の学校での自己評価の実施と結果公表の徹底、情報公開の推進への取り組みを支援するため、私立専門学校等評価研究機構等、他団体とも連携しながら、専修学校各種学校等の学校評価の普及啓発の取り組みを進める。

## 公益目的事業2

### 「進路や職業教育に関する情報収集、研究調査及び情報提供等を行う事業」 (調査統計・研究会等・相談会等・資料頒布等)

#### I 趣旨（目的）

進路や職業教育に関する情報収集、研究調査及び中高生をはじめとした一般への情報提供等を通じて職業教育の振興発展を図り、もって文化の高揚と社会経済の発展に寄与する。

#### II 事業

##### 1. 調査統計

専修学校各種学校に関する様々な調査・研究を下記のとおり行う。

##### (1) 在籍者・納付金・就職状況等に関する調査 <予算額：6,000千円>

###### ①「平成29年度専修学校各種学校調査統計資料」の発行

専修学校各種学校の在籍者数、納付金額、就職状況、財務状況をはじめとした職業教育に関する情報を収集整理し、統計及び分析を行う。文部科学省・東京都の学校基本調査結果等を参考に現状分析を加えて「専修学校各種学校調査統計資料」にまとめて頒布するとともに、ホームページにも掲載を行う。

時期 平成30年3月

部数 1,500部

配布先 専修学校各種学校、行政、関係団体他

調査項目（9項目）

1 在籍調査                      2 学生・生徒納付金調査

3 専修学校専門課程卒業生の就職状況調査

4 専修学校専門課程就職希望者内定状況調査                      5 専修学校財務状況調査

6 留学生在籍調査    7 企業内実習に関する調査

8 情報公開・自己点検自己評価・学校関係者評価等の実施に関する調査

9 東京都内高等専修学校における教育支援に関する実態調査

###### ②「防災に関するアンケート調査」の実施【新規】

東日本大震災発生から7年目を迎えることを契機に、専修学校各種学校における防災体制や備蓄状況等を把握するための調査を実施する。また併せて、調査結果の報告と行政等の防災担当者を招き、最新の防災対策等研修会を行う。

日時 平成30年3月

会場 未定

定員 100名



## (2) 専門学校の振興に関する調査研究【新規】〈予算額：15,000千円〉

### 【目的】

職業実践専門課程の認定及び新たな高等職業教育機関の発足等、専門学校をめぐる状況の変化を踏まえ今後の専門学校の振興をどのように図っていくかについての調査研究を行う。

### 【内容】

現行の高度専門士制度の運用状況及び、職業学位と職業分野分類等に関する実態調査を実施し、専門学校関係者、職業教育に知見を有する者からの意見等を受けながら、実践的な職業教育を担う中心的な存在として専門学校教育の特長をアピールしつつ、質の保証と向上を図るための振興策について具体的な提言を行う。

- ①実態調査
- ②委員会等の運営
- ③成果報告会等の運営
- ④報告書の作成

### 【事業経費内訳】

①高度専門士の運用状況等実態調査	4,150千円
②職業分野分類等に関する調査	4,150千円
③委員会等営	2,000千円
④セミナー開催	1,200千円
⑤報告書印刷	500千円
⑥人件費	3,000千円

## 2. 研究会等

進路や職業教育に関する様々なテーマを取り上げてシンポジウムや講演等を内容とする下記の研究会等を行う。

### (1) 専門学校教育研究会 〈予算額：900千円〉

高等学校、専門学校教職員、教育関係者、その他一般を対象に行政・経済界等の各界から講師を招き専門学校に関するシンポジウム・講演等を内容とする研究会

日 時 平成30年3月  
会 場 未定  
定 員 150名

### (2) 南関東ブロック会議 〈予算額：1,200千円〉

行政担当官からの報告と学識者、学校関係者等によるシンポジウム等を行う。

東京、千葉、埼玉、神奈川、山梨各都県の専修学校各種学校協会が共同で開催。

主催を順番に担当して毎年開催している。29年度は一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会が担当して運営する。また、その他に研究会を別途開催する。

①南関東ブロック会議【担当：千葉県】

日 時 平成29年10月27日（金）（予定）

会 場 京成ホテルミラマーレ

内 容 文部科学省報告

全国専修学校各種学校総連合会報告

各都道府県行政報告

研修会

②南関東ブロック・専修学校各種学校教育研究会

日 時 平成29年7月、12月（年2回開催予定）

会 場 未定

内 容 専修学校各種学校に関する諸問題等についての研究会

**（3）高等専修学校進学研究会 <予算額：800千円>**

中学校教職員、専修学校教職員、教育関係者、その他一般を対象とした高等専修学校教育に関する講演等を内容とする研究会。

日 時 平成29年8月3日（木）（予定）

会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館

内 容 高等専修学校の概要、教育内容紹介・パネルディスカッション

**（4）日本語学校・専門学校連携事業【新規】 <予算額：1,000千円>**

留学生に関する様々な問題等をテーマに掲げ、日本語学校・専門学校連携に関する下記事業を行う。

①日本語学校への進路指導調査の実施

②日本語学校・専門学校に連動した海外向け広報ツールの企画検討を行う

③日本語学校教員向け専門学校セミナーの実施

**（5）日本語学校教育にかかる調査研究【新規】<予算額：200千円>**

外国人留学生が増加し、出身国の割合が大きく変化するなど、日本語学校をとりまく環境は大きく変化している。日本語学校の制度上の諸課題や、質保証の在り方について調査研究及び研究会を行う。

①日本語学校における認可等の制度に関する研究

②日本語学校の質保証・向上に関する研究

### 3. 相談会等

相談会、説明会等を開催し、専修学校各種学校等における職業教育に関する情報提供を広く一般に対して行う。

#### (1) 外国人留学生のための専門学校進学相談会 <予算額 3,000 千円>

全国の日本語教育機関、大学・短期大学日本語別科の学生・教員を対象とした専門学校進学相談会。

日 時 平成29年7月19日(木)(予定)

会 場 遠藤記念館(学校法人文化学園)

#### (2) 日本留学フェア <予算額：16,650 円>

海外における日本留学に関する説明会の実施。日本留学を志している学生や進学指導者等を対象に、日本の教育に関する情報及び個々の教育機関の特色等について、最新で的確な情報を提供し、日本留学の促進を図る。

##### ① 日本留学フェア(台湾)

開催日・場所

高雄：平成29年7月8日(土)時代会館(夢時代8F)(予定)

台北：平成29年7月9日(日)台北世界貿易中心(予定)

参加校

大学・大学院・専門学校・日本語教育機関・高等学校

内 容

オープニングセレモニー

総合相談・個別相談

日本留学・就職に関するオリエンテーション

日本留学体験談

##### ② 日本留学フェア(韓国)

開催日・場所

プサン：平成29年9月9日(土)BEXCO(予定)

ソウル：平成29年9月10日(日)SETEC(予定)

参加校

大学・大学院・専門学校・日本語教育機関・高等学校

内 容

オープニングセレモニー

総合相談・個別相談

日本留学・就職に関するオリエンテーション

日本留学体験談

- ③独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）主催日本留学フェアへの参加  
29年度は、タイ・ベトナム・ミャンマー・インドネシアの4か国に参加する。

**（3）高等専修学校合同説明会 <予算額：860千円>**

進学希望者本人、保護者、教員、その他一般を対象にした高等専修学校の概要、各分野の教育の特徴などに関する相談会を開催する。

①高等専修学校合同説明会の開催

日 時 平成29年7月～12月 全4回

会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館、多摩地域市民会館

②中学校への出前授業の実施

要望のあった都内の公立中学校へ、講師を派遣し、出前授業を行う。

**（4）進路指導に関する相談会 <予算額：2,700千円>**

高等学校、進路指導団体と連携し、相談会を開催し、専門学校に関する情報提供と進学情報の共有を図る。

①「高等学校教員対象専門学校セミナー」

【第1回】

日 時 平成29年11月

会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館

定 員 100名

【第2回】

日 時 平成30年3月

会 場 主婦会館プラザエフ

定 員 100名

②高等学校におけるキャリア教育における講師派遣

専門学校の概要、在校生及び卒業生による経験談、職業体験の説明を行い、専門学校の進学情報を提供する。また、派遣講師を対象に、講演内容や方法を共有するための勉強会を行う。

【講師派遣】

時 期 通年

会 場 都内高等学校

【勉強会】

時 期 平成29年5月

会 場 未定

#### 4. 資料頒布等

専修学校各種学校等における職業教育に関する情報資料を作成し、印刷媒体、インターネット等を通じて広く一般に提供する。

##### (1) 「東専各だより」の発行 <予算額：50 千円>

協会活動の状況や、専修学校・各種学校の関係情報をタイムリーに発信する。

時 期 平成29年6月、9月、11月、平成30年3月（年4回）

部 数 状況に合わせて印刷を行う。

##### (2) 「東専各協会報」の発行 <予算額：800 千円>

協会事業等の1年間の実績を総括した活動状況や次年度事業等について掲載する。

時 期 平成29年8月

部 数 1,000部

配布先 会員校、行政、関係団体他

##### (3) 「分野別名簿」の発行 <予算額：1,300 千円>

都内の認可された専修学校・各種学校の設置学科、所在地等を掲載した名簿。

時 期 平成29年9月

部 数 1,000部

配布先 専修学校各種学校、行政、関係団体他

##### (4) 「路」の発行 <予算額：1,500 千円>

中学校から高等専修学校への進路等をテーマにした研究情報誌。高等専修学校の教育実践、各種研究を掲載し、専修学校教職員、中学校関係者相互の進路指導に役立つ情報提供を目的とする。

時 期 平成29年10月

部 数 3,000部

配布先 専修学校各種学校、中学校、行政他

##### (5) 「キャリアエデュ」の発行 <予算額：3,000 千円>

高等学校から専門学校への進路等をテーマにした研究情報誌。専門学校の教育実践、各種研究を掲載し、専修学校教職員、高等学校関係者相互の進路指導に役立つ情報提供を目的とする。

時 期 年3回

部 数 各3,000部

配布先 専修学校各種学校、高等学校、行政他

**(6)「専修学校教育白書」の発行 <予算額：2,500千円>**

専修学校に関する各種データ等を掲載。専修学校に各種情報を基に教育白書を発行し、全国の図書館等への配布などを通じて専修学校に関する情報を一般に提供する。

時 期 平成30年3月

部 数 1,500部

配布先 専修学校各種学校、図書館、行政他

**(7)「就職要点手帳」の発行(第8版) <予算額：650千円>**

専門学校生のための就職手引書。専門学校生が就職活動をするうえで必要な情報を掲載。

時 期 平成29年6月

部 数 10,000部

配布先 専門学校

**(8)「東京都高等専修学校概要」の発行 <予算額：1,300千円>**

中学校での進路指導に役立つ高等専修学校情報を掲載した教員用資料。

時 期 平成29年6月

部 数 3,500部

配布先 中学校、教育関連施設他

**(9)「高等専修学校進学ガイド」の発行 <予算額：200千円>**

高等専修学校についてのコンパクトなリーフレット。

時 期 平成29年6月

部 数 8,000部

配布先 中学校、教育関連施設他

**(10)「高等専修学校リーフレット」の発行 <予算額：715千円>**

高等専修学校の地図や資料請求はがきの付いたリーフレット。

時 期 平成29年6月

部 数 90,000部

配布先 中学校、教育関連施設他

**(11)「東京都専門学校概要」の発行 <予算額：9,180千円>**

高等学校での進路指導に役立つ専門学校情報を掲載した資料。

時 期 平成29年5月

部 数 30,000部

配布先 高等学校、大学、図書館、教育関連施設他

**(12) 「学生・保護者・社会人のための専門学校ガイド」の発行 <予算額：4,220 千円>**

学生・保護者・社会人向けに専門学校についてコンパクトで分かりやすく解説したガイドブック。

時 期 平成29年4月

部 数 160,000部

配布先 高等学校、大学、図書館、教育関連施設他

**(13) キャンペーン事業 <予算額：6,000 千円>**

協会広報活動の一環として、他媒体（新聞、雑誌等）への広告出稿等を行い、イメージアップキャンペーンを実施。

**(14) 情報ネットワーク事業 <予算額：20,000 千円>**

専修学校各種学校に関する情報発信の充実を図るために、協会ホームページ等の総合的な検証を行ったうえで、ウェブを通じた効果的な情報発信体制を構築する。

平成29年7月より、新規ホームページ等での情報提供を行う。

### 公益目的事業3

#### 「教育訓練、職業訓練、就労支援等の提供を行う事業」

#### I 趣旨（目的）

グローバル化の流れの中での就労支援のための各種セミナーや、厳しい雇用環境の中での求職者に対する職業訓練といった、社会環境の変化やニーズに対応した教育訓練、職業訓練、就労支援の提供を行い、もって文化の高揚と社会経済の発展に寄与する。

#### II 事業

##### 1. 就労支援事業 〈予算額：3,726千円〉

専修学校、地域社会、企業団体等と連携して若年者・外国人留学生に対する就労支援体制を構築し、就職に必要な知識を提供するとともに、雇用機会の拡大を図るため、下記の事業を実施する。

##### (1) グローバル人材就職・転職説明会

求職者と企業とのマッチングを目指す就職説明会。就労におけるミスマッチを防ぎ、就労促進を図るために、グローバル人材の採用を予定している企業と直接対面、個別相談できる場として説明会を実施し、合わせて外国人留学生に対しては就労ビザ取得手続きなどに関する相談コーナー設置により情報提供を行う。

日 時 平成29年6月24日（土）（予定）

会 場 五反田TOCビル特別ホール

##### (2) 外国人留学生採用促進セミナー

留学生採用に必要な知識習得のための企業採用担当者対象セミナーを実施する。

日 時 未定

会 場 未定



**その他の事業（相互扶助等事業）**

**「会員、賛助会員、関係団体の連携親睦事業」**

**（新年賀詞交歓会・賛助会員向け事業・保護者連絡会事業）**

I 事業

**（1）新年賀詞交歓会 〈予算額：3,000千円〉**

会員、賛助会員、その他教育関係者等を対象に、情報交換と交流促進の場として新年賀詞交歓会を実施する。

日 時 平成30年1月

会 場 京王プラザホテル

**（2）賛助会員向け事業 〈予算額：200千円〉**

賛助会員へ各種印刷物の送付をはじめとする情報提供を行う。また、新規賛助会員募集のための広報活動を行う。

**（3）保護者連絡会事業 〈予算額：475千円〉**

保護者相互の情報交換と交流促進を図るとともに、学生・生徒の学習環境改善や保護者の負担軽減のための活動を行う。

**法人運営・法人活動**  
**(法人としての運営行事や活動)**

**(1) 通常総会**

日 時 平成29年6月20日(火)(予定)  
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館  
内 容 平成28年度事業報告・決算ほか

**(2) 定期総会**

日 時 平成30年3月2日(金)(予定)  
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館  
内 容 平成30年度事業計画・予算ほか

**(3) 理事会**

第1回 日 時 平成29年5月  
会 場 事務局会議室  
内 容 平成28年度事業報告・決算ほか  
第2回 日 時 平成29年11月  
会 場 事務局会議室  
内 容 平成29年度事業、会計中間報告  
第3回 日 時 平成30年3月2日(金)(予定)  
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館  
内 容 平成30年度事業計画・予算ほか

**(4) 運営委員会**

第1回 日 時 平成29年5月  
会 場 事務局会議室  
内 容 平成28年度事業報告・決算ほか  
第2回 日 時 平成29年11月  
会 場 事務局会議室  
内 容 平成29年度事業、会計中間報告  
第3回 日 時 平成30年3月2日(金)(予定)  
会 場 アルカディア市ヶ谷私学会館  
内 容 平成30年度事業計画・予算ほか

#### (5) 常務理事会

日 時 年4回  
会 場 事務局会議室  
内 容 事業執行状況報告等について

#### (6) 業務執行理事会（正副会長会議）

日 時 年10回  
会 場 事務局会議室  
内 容 事業計画・予算、事業報告・決算、事業執行状況、その他協会運営について

#### (7) 監査

##### ①期末監査

日 時 平成29年5月  
会 場 事務局会議室  
内 容 平成28年度事業及び決算

##### ②期中監査

日 時 平成29年9月、11月、平成30年3月（全3回）  
会 場 事務局会議室  
内 容 事案決定及び契約締結について  
事業評価について  
職員の服務について

#### (8) 役員改選

平成30・31年度役員を決定するため、役員改選のための分野部会等の会議を行う。

日 時 平成30年1月～3月  
会 場 事務局会議室  
内 容 役員改選

#### (9) 補助事業・委託事業の周知業務、申請受付等

東京都及び文部科学省の補助事業・委託事業の周知や申請受付等を行う。

#### (10) その他活動

##### ①学生・生徒表彰

専修学校各種学校に在籍する学生・生徒に対し、協会が表彰する

##### ②入学式及び卒業式への祝辞を送付

##### ③会員への福利厚生

学生・生徒対象補償制度の紹介

学校及び教職員対象補償制度の紹介